

「自治の土壌を耕す公民館とは」講座 ～見つめ直すコミュニティとその支援～

公民館が取り組んできた、学びを柱とする総合的な地域づくりの成果や社会教育士に期待される役割、社会福祉や学校との連携等を踏まえ、地域コミュニティでの日常生活や現代に即した「自治」のあり方などについて考えました。(受講者数 57名)

講義

自治の土壌を耕す公民館とは

東京大学 大学院教育学研究科 教授
牧野 篤 氏



事例① 松本市島立地区大庭公民館（町内公民館）の活動

事例② 松本市中央地区鷹匠町公民館（町内公民館）の活動



鷹匠町町会長 中田 充氏
大手公民館主事 中條 克明氏



大庭公民館前館長 藤森喜久代氏
島立公民館主事 浅井 勇太氏

〈受講者アンケートから〉

- 時代的社会教育、公民館の姿がよく理解できました。今後変貌する社会環境、人間として何をなすべきか？意識を改めさせられた。(公民館)
- いかに「対話が大事」ということが思い知らされた。高校卒業後などに地元に戻ってくる子供たちが増えるような社会になれば素敵だなと思います。(一般)
- 学校と地域の連携が今まで以上に求められる背景について、大変腑に落ちるとともに、やらされる連携ではなく楽しみながら進めていきたいという思いを新たにしました。(県・国)
- 熱意が人を動かすということを改めて感じました。(社協)

